

高年齢者の雇用・就業の現状と課題 (Ⅲ・Ⅳの追加)

職業生活設計に関する相談機会の有無と定年後の就業形態の関係

定年前に将来の仕事について会社と相談する機会が「あった」者の方が、「なかった」者より、勤務先の会社で引き続き継続雇用されている者の割合が高い。

		定年到達直後（または定年前の退職直後）の就業形態							合計
		勤務先の会社などで再雇用・勤務延長の形で働いていた	勤務先の会社から別の会社などをあつせんされて再就職した	勤務先からのあつせんによらず別の会社などに再就職した	自ら事業を起こした	内職・家業の手伝い、任意に行う仕事などをしていた	その他	無回答	
定年前に将来の仕事について会社と相談する機会	あった	71.4%	13.1%	10.1%	0.3%	0.9%	2.8%	1.4%	100.0%
	なかったので、自分から相談に行った	52.4%	9.1%	26.9%	11.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	なかった	45.3%	9.7%	33.1%	3.2%	1.1%	5.4%	2.2%	100.0%
	無回答	31.3%	9.1%	38.0%	1.0%	11.4%	0.0%	9.2%	100.0%
合計		55.2%	11.1%	23.8%	1.9%	1.8%	3.8%	2.4%	100.0%

60代前半の継続雇用者対象の研修を実施している企業の業種別割合

【業種別】

	製造業	建設業	情報通信	運輸業	卸売・小売	金融・保険	飲食・宿泊	医療・福祉	全体
研修を実施している	3.4%	2.3%	2.0%	4.7%	2.6%	7.5%	0.7%	5.4%	2.8%
研修を実施していない	93.0%	92.3%	78.0%	92.1%	89.8%	87.5%	84.0%	85.1%	89.2%
無回答	3.7%	5.5%	20.4%	3.2%	7.7%	5.0%	15.3%	9.5%	8.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

（研修を実施している目的） ※複数回答可

	製造業	建設業	情報通信	運輸業	卸売・小売	金融・保険	飲食・宿泊	医療・福祉	全体
技能や知識の陳腐化を防ぐため	57.1%	42.9%	100%	68.8%	78.9%	—	—	100%	65.1%
職種転換に対応してもらうため	17.1%	—	—	12.5%	10.5%	33.3%	—	—	11.9%
仕事の効率を上げてもらうため	37.1%	57.1%	100%	37.5%	57.9%	33.3%	—	25%	43.1%
より若い従業員との人間関係をよくするため	28.6%	42.9%	100%	31.3%	52.6%	—	100%	—	28.4%

60代前半の継続雇用者対象の研修を実施している企業の規模別割合

【企業規模別】

	1～50名未満	50名～100名未満	100～200名未満	200～500名未満	500名以上	全体
研修を実施している	1.5%	2.6%	3.1%	3.0%	4.3%	2.8%
研修を実施していない	86.6%	89.3%	88.8%	91.2%	92.3%	89.2%
無回答	11.9%	8.0%	8.1%	5.8%	3.3%	8.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

（研修を実施している目的） ※複数回答可

	1～50名未満	50名～100名未満	100～200名未満	200～500名未満	500名以上	全体
技能や知識の陳腐化を防ぐため	75.0%	69.0%	75.0%	44.4%	53.8%	65.1%
職種転換に対応してもらうため	25.0%	11.9%	12.5%	11.1%	7.7%	11.9%
仕事の効率を上げてもらうため	25.0%	40.5%	53.1%	44.4%	30.8%	43.1%
より若い従業員との人間関係をよくするため	—	35.7%	28.1%	33.3%	7.7%	28.4%